

【FdData 高校入試：中学社会歴史：平安】

[\[桓武天皇の時代\]](#) / [\[東アジアの変化\]](#) / [\[摂関政治\]](#) / [\[国風文化\]](#) / [\[浄土信仰\]](#) / [\[武士の成長と院政\]](#) / [\[平清盛の政治\]](#) / [\[FdData 入試製品版のご案内\]](#)

[\[FdData 入試ホームページ\]](#)掲載の pdf ファイル(サンプル)一覧

※次のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると、新規ウィンドウが開きます

社会： [\[社会地理\]](#)， [\[社会歴史\]](#)， [\[社会公民\]](#)

理科： [\[理科 1 年\]](#)， [\[理科 2 年\]](#)， [\[理科 3 年\]](#)

数学： [\[数学 1 年\]](#)， [\[数学 2 年\]](#)， [\[数学 3 年\]](#)

※全内容を掲載しておりますが、印刷はできないように設定しております

【】 平安京と東アジアの変化

【】 桓武天皇の時代

[平安京]

[問題]

平安京に都を移し、政治を立て直そうとした天皇はだれか。

(香川県)

[解答欄]

[解答]桓武天皇

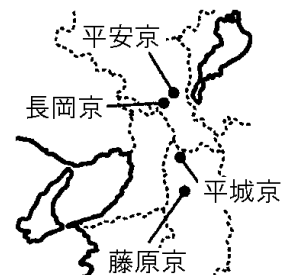
[解説]

奈良時代の後半には、貴族や僧の間で勢力争いが激しくなり、政治が混乱した。

そこで、桓武天皇は、新しい都で政治を立て直そうとして、784年に都を長岡京に移し、ついで794年に都

を平安京(今の京都市)に移した。そのさい、仏教の勢力が政治と結びつくのをきらい、奈良にある寺が平安京に移ることを禁じた。

[平安京]  
桓武天皇 794年  
貴族や僧の間の勢力争いで政治が混乱したため



(鳴くよ(794)ウグイス平安京) 794年から1185年の約400年間を平安時代という。

※入試出題頻度：「貴族や僧の間で勢力争いが激しくなり、政治が混乱したため○」

「桓武天皇◎」「794年○」「平安京(地図)◎」

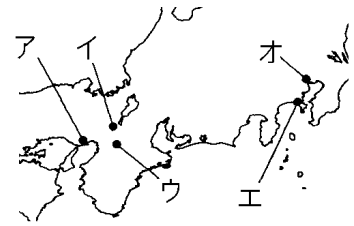
(頻度記号：◎(特に出題頻度が高い)，○(出題頻度が高い)，△(ときどき出題される))

[問題]

8世紀末、桓武天皇は都を現在の京都の位置に移した。

これについて、次の各問いに答えよ。

- (1) この新しい都を何というか。
- (2) (1)の位置を、右の地図中のア～オから1つ選んで記号で答えよ。



(山梨県・鳥取県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 平安京 (2) イ

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

桓武天皇は、寺院の勢力が強く、貴族や僧の争いが激しかった奈良の( ① )京から長岡京、そして、794年に( ② )京へと都を移した。

(熊本県改)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 平城 ② 平安

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 桓武天皇が平安京に都を移したのは西暦何年か。
- (2) 桓武天皇が都を移した理由としてあてはまるものを次から1つ選べ。
  - ア 奈良の都がせまくなったため。
  - イ 貴族や僧の間で勢力争いが激しくなり、政治が混乱したため。
  - ウ 朝廷の税による収入がふえたため。

(補充問題)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 794年 (2) イ

[問題]

都が平城京から新しい地に移されたとき、寺院は移されずにそのまま残された。それはなぜか。その理由を、「僧」の語句を用いて簡潔に書け。

(奈良県)

[解答欄]

--

[解答]僧が政治を混乱させたから。

[問題]

次の文中の①に数値を入れよ。また②の( )内より適切な数字を選べ。

平安時代は、( ① )世紀の末に都が平安京に移されてから約(100/200/300/400)年間続いた。

(秋田県改)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 8 ② 400

[問題]

右図は、長岡京、藤原京、平安京、平城京の4つの都があった位置を●で示したものであり、A～Dはそれぞれ4つの都のいずれかである。A～Dを、都がおかれていた時期の古いものから順に並べかえ、記号で書け。

(京都府)

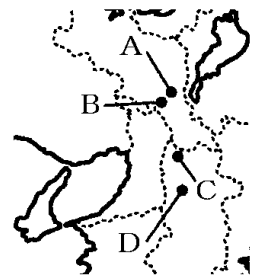
[解答欄]

--

[解答]D→C→B→A

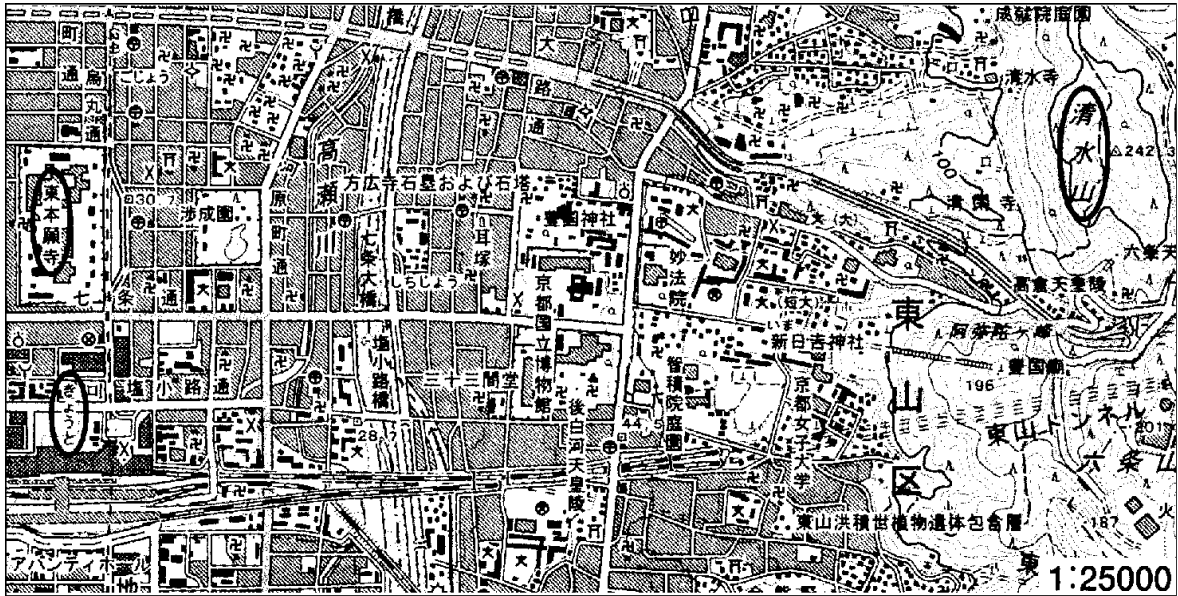
[解説]

D(藤原京：持統天皇)→C(平城京：奈良時代)→B(長岡京：桓武天皇)→A(平安京：桓武天皇)



[問題]

平安時代に都のあった京都市の街のつくりは、唐の都の長安にならってつくられたなごり  
を残している。それはどのようなことからわかるか。下の地図から読み取れることを簡潔に  
書け。



(宮崎県)

[解答欄]

[解答]道路が基盤の目状につくられていることから読み取れる。

[解説]

平城京と同様に、平安京も、中国の唐の都である長安を手本としてつくられた。道路が基盤  
の目状につくられているのは長安の影響である。

[東北への支配の拡大]

[問題]

胆沢城や志波城が坂上田村麻呂によって築かれ東北地方に対する朝廷の勢力が広まった。  
このときの天皇はだれか、次から1人選べ。

[ 推古天皇 天智天皇 聖武天皇 桓武天皇 ]

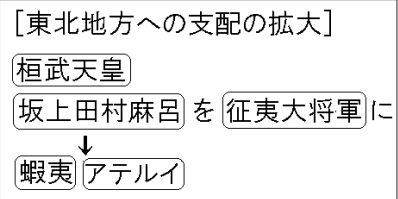
(秋田県)

[解答欄]

[解答]桓武天皇

【解説】

平安時代初期のころ、<sup>りつりょう</sup>律令国家の支配が及んだのは関東地方までで、東北地方に住む人々は、朝廷から異種の文化をもつ<sup>いみんぞく</sup>異民族あつかいにされ、<sup>えみし</sup>蝦夷と呼ばれた。朝廷はしだいに東北地方への支配を拡大していったが、これに対し蝦夷の人々は、アテルイを指導者として激しく抵抗した。桓武天皇は、797年に<sup>さかのうえのたむらまろ</sup>坂上田村麻呂を<sup>せいいたいしょうぐん</sup>征夷大將軍に任命した。801年、坂上田村麻呂は、4万人の朝廷軍を率いて胆沢地方を平定し、翌年、胆沢城(現在の<sup>いさわ</sup>岩手県)を造った。アテルイは軍を率いて降伏した。



※入試出題頻度：「桓武天皇○」「坂上田村麻呂○」「征夷大將軍○」「蝦夷○」「アテルイ○」

【問題】

次の文中の①，②に適語を入れよ。

平安時代初期，東北地方にすむ人々は( ① )と呼ばれていた。桓武天皇は，( ② )を征夷大將軍に任命して遠征させた。

(新潟県改)

【解答欄】

①	②
---	---

【解答】① 蝦夷 ② 坂上田村麻呂

【問題】

次の文は，桓武天皇のころの朝廷について説明したものである。文中の①～③の( )内からそれぞれ適語を選べ。

地方の政治を立て直すため，①(国司／防人)に対する監視をきびしくした。また，坂上田村麻呂を②(太政大臣／征夷大將軍)とする軍を③(東北／九州)へ送り，その勢力を広げた。

(富山県)

【解答欄】

①	②	③
---	---	---

【解答】① 国司 ② 征夷大將軍 ③ 東北

[問題]

右の地図の A の範囲を含む地域を本拠地とした蝦夷の指導者であり、平安時代の初めに朝廷が派遣した軍と戦い鎮圧された人物として、正しいものは次の[ ]のどれか。



[ アテルイ シャクシャイン 藤原純友 坂上田村麻呂 ]

(長崎県)

[解答欄]

[解答]アテルイ

[問題]

次の文中の①, ②の( )内からそれぞれ適語を選べ。

平安時代の初期に朝廷は、東北地方の支配に力を入れ、坂上田村麻呂を①(太政大臣／征夷大將軍)に任命し、東北地方の蝦夷の拠点を攻撃した。これに対して、蝦夷は②(シャクシャイン／アテルイ)などをリーダーに団結して抵抗した。

(熊本県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 征夷大將軍 ② アテルイ

[問題]

坂上田村麻呂が、アテルイが指導する蝦夷との戦いの拠点とするために築いた城の位置する場所は、現在のどの道県にあるか、次の[ ]から適切なものを1つ選べ。

[ 北海道 青森県 岩手県 山形県 ]

(石川県)

[解答欄]

[解答]岩手県

[問題]

桓武天皇の時代、九州地方の政治と外交や防衛の中心となった役所を何というか。

(福井県)

[解答欄]

[解答]太宰府

[空海と最澄]

[問題]

9世紀に遣唐使船で唐にわたって仏教を学び、帰国後、高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めた人物名を、漢字2字で書け。

(兵庫県)

[解答欄]

[解答]空海

[解説]

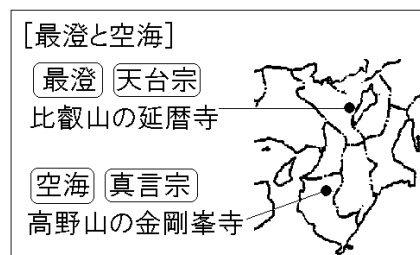
奈良時代、仏教が政治と結びついて腐敗したため、桓武天皇は僧侶の資格を厳しくするなどして、それをあらためようとした。これに応じて仏教界にも改革の動きが起こった。最澄と空海は、教典の研究を中心とする奈良仏教にあきたらず、仏教の本来のあり方を求めて修行を重ね、遣唐使にしたがって唐にわたった。

帰国後、最澄は比叡山に延暦寺(滋賀県・京都府)を建てて天台宗を、空海は高野山に金剛峯寺(和歌山県)を建てて真言宗を開いた。いずれも、人里はなれた山奥の寺で学問や厳しい修行を行った。やがてこの新しい仏教は、貴族たちの間に広く受け入れられていった。

※この単元で覚えておかなければならない語句は8つもあるため覚えにくい。このような場合、適当な語呂合わせで覚えるのがよい。例えば、

- ・祭典火炎(さいてんひえん)：さい(最澄) てん(天台宗) ひ(比叡山) えん(延暦寺)
- ・空港に新婚(くこうにしんこん)：くう(空海) こう(高野山) しん(真言宗) こん(金剛峯寺)

※入試出題頻度：「最澄・天台宗◎」「空海・真言宗◎」



[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

高野山には，金剛峯寺がある。この寺は，唐で新しい仏教を学んだ( ① )が，帰国後，( ② )宗を広めるために建てたものである。

(茨城県改)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 空海 ② 真言

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

比叡山延暦寺のもとを築いた( ① )は，中国で( ② )宗を学び日本に広めた。

(和歌山県改)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 最澄 ② 天台

[問題]

比叡山延暦寺のもとを築いた最澄は，唐で仏教を学んだ。唐が栄えたころ，現在のシーア  
ンにあった唐の都は，周辺の諸国から商人や留学生，留学僧が多く集まる国際色豊かな都市  
であった。その唐の都の名を書け。

(大阪府)

[解答欄]

--

[解答]長安

[問題]

平安時代に真言宗が開かれたが，当時の真言宗に関することがらとして正しいものを，次  
のア～エから1つ選び，記号で答えよ。

ア 宋から伝えられたもので，広く武士の間に受け入れられた。

イ 極楽浄土に生まれかわることを願う人々に広く受け入れられた。

ウ 念仏をとこなえるだけで救われるとする教えは，おもに庶民の信仰を集めた。

エ 願いをかなえるための祈りや儀式，まじないによって，おもに貴族に重んじられた。

(熊本県)



[解答欄]

[解答]エ

[解説]

アは鎌倉時代の禅宗。イは平安後期の浄土教。ウは鎌倉時代の浄土宗。

## 【】 東アジアの変化

[遣唐使の停止]

[問題]

遣唐使は、894年に、( X )の意見により停止されそれ以降、派遣されなかった。Xに当てはまる人物の氏名を書け。

(愛媛県)

[解答欄]

[解答]菅原道真

[解説]

7世紀の初めに隋にかわって中国を統一した唐は、その後、発展をとげた。日本は遣唐使を通じてその文化や政治制度を取り入れた。しかし、9世紀後半には唐の勢力がおとろえ、もうそれ以上学び取るべきものは少なくな

っていた。遣唐使に任命された菅原道真は、894年、唐のおとろえと往復の危険を理由に遣唐使停止の建白を出して承認された。(白紙(894)に返せ遣唐使)

菅原道真は、藤原氏をおさえるために天皇によって引き立てられた人であるが、その後、藤原氏の陰謀によって大宰府(福岡県)に左遷された。

※入試出題頻度：「菅原道真○」「遣唐使の停止○」「唐のおとろえと往復の危険のため○」

[遣唐使の停止]

894年：菅原道真が建白

理由：唐のおとろえと往復の危険

[問題]

次は菅原道真の建白書の一部である。文中の X に適する語句を答えよ。

(私が)唐にいる日本の僧から送られてきた報告書を見たところ、唐の国力の衰退している様子が書かれていました。報告の通りであれば、今後派遣される( X )にどのような危険が生じるかわかりません。長年続けてきた(X)を廃止するかどうか、審議し決定するようお願いいたします。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]遣唐使

[問題]

9世紀になると唐では国内で反乱があい次ぎ、勢力が急速におとろえた。それらを理由に日本から使節の派遣を停止した。これについて、次の各問いに答えよ。

- (1) 停止した使節を何というか。
- (2) (1)の停止を進言した人物はだれか。
- (3) (1)を停止することにした理由として適切でないものを1つ選べ。
  - ア 学ぶものが少なくなったから。
  - イ 唐が減んだから。
  - ウ 航海が危険だったから。

(補充問題)

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 遣唐使 (2) 菅原道真 (3) イ

[解説]

(3) 唐がほろんだのは10世紀はじめであるので、イが誤り。

[問題]

日本が遣唐使を停止した最も大きな理由は何か。「唐」という語句を使って簡潔に書け。

(和歌山県)

[解答欄]

--

[解答]唐がおとろえて、それ以上学ぶべきものが少なくなったから。

[宋・高麗]

[問題]

9～10世紀ごろの中国のようすについて述べたものを、次のア～エから1つ選べ。

- ア 清が成立し支配領域を広げた。
- イ 漢が領土を広げ、西方との交通路も開かれた。
- ウ 秦が中国を統一し、政治のしくみを整えた。
- エ 唐の国内が乱れ、勢力が急速に衰えていった。

(富山県)

[解答欄]

--

[解答]エ

【解説】

中国では、唐の勢力が急速に衰えて907年に滅び、数十年の内乱の後、960年に宋が国内を統一した。朝鮮半島では936年に高麗がおこり、やがて新羅をほろぼした。日本は

宋や高麗とは正式な国交を結ばなかったが、両国の商人が交易を行った。

※入試出題頻度：「宋△」「高麗△」

【東アジアの変化】

- 894年 遣唐使の停止
- 907年 唐が滅ぶ
- 936年 高麗が朝鮮半島を統一
- 960年 宋がおこる

【11世紀の東アジア】



【問題】

次の文中の①，②のに適語を入れよ。

唐は10世紀のはじめにほろび、小国の分立を経て、( ① )が中国を統一した。同じころ朝鮮半島には( ② )がおこった。これらの国との公式な交流はなかったが、商人たちが日本に文物をもたらしした。

(補充問題)

【解答欄】

①	②
---	---

【解答】① 宋 ② 高麗

【】 摂関政治と国風文化

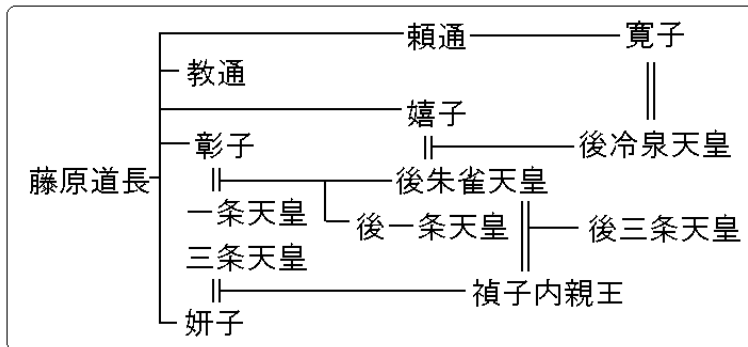
【】 摂関政治

[藤原氏の勢力拡張方法]

[問題]

次の資料は藤原氏の系図の一部である。資料をもとに藤原氏が勢力をのぼすためにとった手段について次のようにまとめた。①、②に適する語句を書け。

藤原氏は自分の娘を( ① )とし、生まれた子どもを( ② )にして勢力をのぼした。



(福井県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 天皇のきさき ② 天皇

[解説]

藤原氏は他の貴族をしりぞけて次第に権力をにぎっていったが、その秘訣は、自分の娘を天皇のきさきとすることであった。娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てることで勢力をのぼした。

[藤原氏の勢力拡張方法]

娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てることで勢力をのぼした。

藤原氏の全盛時代を築いた藤原道長は4人の娘をつぎつぎに皇后や皇太子妃として、30年にわたって朝廷内で大きな権勢をふるった。

※当時の貴族社会では、子供は母方の家で育てられる習慣であった。天皇と藤原道長(など)の娘であるきさきとの間に生まれた男の子(将来の天皇)は、きさきの実家である藤原道長のもとで育てられたので、おじいさんである藤原道長は将来の天皇になるこの男の子にとって身近な存在となった。幼くして即位した場合、藤原道長がその後見役(摂政)になるのは自然の成り行きである。

※入試出題頻度:「自分の娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てることで勢力をのぼした◎」

[問題]

藤原氏はどのようにして勢力をのぼしたか。「娘」「天皇」「きさき」という語句を使って説明せよ。

(佐賀県改)

[解答欄]

--

[解答]自分の娘を天皇のきさきにし、生まれた子どもを次の天皇にして勢力をのぼした。

[摂関政治]

[問題]

藤原道長の一族は、自分の娘を天皇のきさきとし、天皇が幼いときだけでなく、成人したあとも政治の実権を握った。このような政治のしくみを何というか、漢字で書け。

(富山県)

[解答欄]

--

[解答]摂関政治

[解説]

他の貴族<sup>きぞく</sup>をしりぞけて勢力をのぼした藤原氏<sup>ふじわらし</sup>は、9世紀後半には、天皇が幼いときは<sup>せつしやう</sup>摂政、成人してからは<sup>かんぱく</sup>関白の職につき、政治の実権をにぎるようになった。これを<sup>せつかんせいじ</sup>摂関政治という。

※入試出題頻度：「摂関政治◎」「摂政○」「関白○」

[藤原氏の <sup>せつかんせいじ</sup> 摂関政治]
天皇が幼いときは <sup>せつしやう</sup> 摂政
天皇が成人すると <sup>かんぱく</sup> 関白

[問題]

次の文中の①、②に適語を入れよ。

藤原氏は娘を天皇のきさきにし、その子を天皇に立て、天皇が幼いときは( ① )、成人したのちは( ② )という職について政治を動かした。

(茨城県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 摂政 ② 関白

[問題]

平安時代の摂関政治について述べた次の文中の①、②の( )内からそれぞれ適語を選べ。

政治の実権を握った①(蘇我／藤原)氏は、たくみに他の貴族を退けながら、娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てて、②(摂政／上皇)や関白となり勢力を伸ばした。

(島根県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 藤原 ② 摂政

[問題]

藤原道長とその子頼通のときに最もさかんであった政治のしくみについて、「天皇」「関白」の2つのことばを用いて書け。

(岡山県)

[解答欄]

[解答]天皇が幼いときは摂政，成長すると関白の職について，政治の実権をにぎり，天皇にかわって政治を動かす摂関政治であった。

[摂関政治の最盛期]

[問題]

摂関政治が行われていた時代に，4人の娘を天皇のきさきにし，「この世をば わが世とぞ思ふ もち月の かけたることも なしと思へば」という歌をよんだ人物は誰か。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]藤原道長

[解説]

藤原氏は11世紀ころ、<sup>ふじわらのみちなが</sup>藤原道長とその子<sup>ふじわらのよりみち</sup>藤原頼通の時代<sup>ぜんせいき</sup>に全盛期を迎えた。藤原道長は4人の娘をつぎつぎに<sup>こうごう</sup>皇后や<sup>こうたいしひ</sup>皇太子妃とし、30年にわたって<sup>けんせい</sup>権勢をふるった。(威令広(1016)まる道長さん)

道長は、娘の一人を天皇のきさきとすることに成功したとき、自分の<sup>けんせい</sup>権勢が<sup>ぜつちようき</sup>絶頂期にあるうれしさを「この世をばわが世とぞ思う<sup>もちづき</sup>望月の欠けたることも無しと思えば(この世は私のためにあるようなものだ。満月の欠けたところがないように私の思うようにならない事一つも無い)」という歌で表している。

[摂関政治の最盛期]

11世紀に最盛期

藤原道長・藤原頼通

藤原道長の子である頼通よりみちは、3 天皇 50 年間にわたって摂政・関白をつとめ、我が世の栄華えいがを楽しんだ。

※入試出題頻度：「藤原道長◎」「藤原頼通○」

[問題]

次の文の①に当てはまることばを漢字 2 字で書け。また、②に当てはまる人の名を書け。

藤原氏は、自らの娘を天皇のきさきとし、生まれた子を天皇に立てて、天皇が幼いときには摂政、成人したのちには( ② )の職について、天皇にかわって政治を行った。このような政治は、11 世紀前半の藤原道長と、その子である藤原( ② )のころに、全盛期をむかえた。

(北海道)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 関白 ② 頼通

[問題]

「天下の荘園はことごとく摂関家のもので、公領は錐(きり)を立てるわずかな土地ほどもないのか。悲しい世である。」(小右記より部分要約) この資料の内容と最もかかわりのあるものを、次のア～エから 1 つ選び、記号を書け。

ア 聖武天皇のころの朝廷

イ 道長や頼通のころの藤原氏

ウ 清盛のころの平氏

エ 義満のころの足利氏

(長野県)

[解答欄]

--

[解答]イ

[問題]

次の各問いに答えよ。

(1) 摂関政治が行われたのは何時代か。

(2) (1)の時代、都に住んで、天皇とともに政治・文化の中心となっていたのはどんな身分の人々か。

(徳島県・福井県)



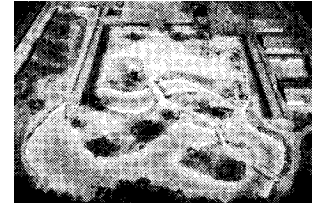
[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 平安時代 (2) 貴族

[問題]

右図は東三条殿という寝殿造の邸宅を復元した模型である。東三条殿は、摂政や関白などの地位について権力をもっていた貴族の邸宅であるが、その貴族とは何氏か。



(神奈川県)

[解答欄]

[解答]藤原氏

[荘園]

[問題]

道長・頼通のときに全盛期をむかえた藤原氏は、朝廷の役職の多くを一族で占め、国司のおくりものや所有する土地である( X )からの収入などで、はなやかな生活を送った。文中の X 内に入れる適語を答えよ。

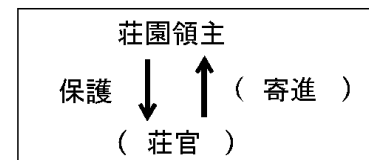
(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]荘園

[解説]

藤原氏<sup>ほんえい</sup>繁栄の経済的基礎は<sup>しょうえん</sup>荘園という私有地であった。有力な農民の中には、土地を有力貴族や大きな寺社に<sup>きしん</sup>寄進して、税の免除<sup>めんじょ</sup>を受け、自分は名目上は<sup>しょうかん</sup>荘官になって、有力貴族等に(税よりは少ない)年貢を納めるようになった。このよう

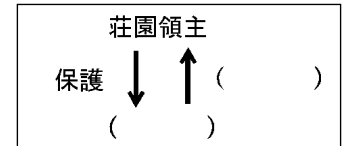


にして藤原氏へ寄進される荘園が増加し、そこから上がってくる年貢によって、はなやかでぜいたくな生活を送った。

※入試出題頻度：この単元はときどき出題される。

[問題]

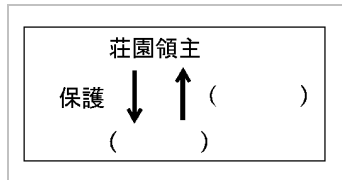
平安時代のころ、荘園は全国的に急増した。右の図は当時の荘園制のしくみを表したものである。次の語句から、図中の( )にあてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、図を完成せよ。



[ 百姓代 荘官 防人 寄進 石高 寄合 ]

(奈良県)

[解答欄]



[解答]



[地方政治の乱れ]

[問題]

次の文は、律令制度に大きな変化がみられた平安時代の中ごろのようすを説明したものである。文中の①、②にあてはまる語句を書け。

( ① )氏が摂政や関白となって天皇の代わりに政治を行うころには、班田収授の実施は困難になっていた。また、このころ地方の政治は、都から派遣された( ② )とよばれる役人に任せられていたため、彼らの中には不正に税を取り立てて財産をたくわえる者もあらわれた。

(徳島県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 藤原 ② 国司

[解説]

10世紀になると、地方の政治は国司こくしにまかせきりになり、不正を行う国司も出て、地方の政治は乱れた。国司の不正に対して取りしまりをおこなうべき中央政府(藤原氏の摂関政治)は、ほとんど何もせず、それどころか、国司の官職を売買することが行われていたのである。また、任地に代理を送って収入だけを得る国司が多かった。摂関政治のころには、朝廷の政治は先例さしきや儀式を重んじる形式的なものとなり、国政に関して積極的な政策をとることはほとんど見られなくなっていた。

※入試出題頻度：この単元はときどき出題される。

[問題]

次のア～エの中から、摂関政治が行われていたころのようすをあらわしたものとして、最も適当なものを1つ選べ。

ア 諸国には中央から国司が派遣され、政治を行うしくみが整った。

イ 国司の持っていた権限は守護大名によって吸収されていった。

ウ 任地に代理を送って収入だけを得る国司が多くなった。

エ 東大寺に大仏をつくるため、国司は必要な物資と農民を都に送った。

(福島県)

[解答欄]

[解答]ウ

[問題]

わが国では、10世紀に入ると、地方を支配するしくみが大きく変わった。それはどのように変わったのか。「国司」という語句を用いて、簡単に書け。

(香川県)

[解答欄]

[解答]地方の政治は、国司にほとんど任されるようになった。

## 【】国風文化

[国風文化]

[問題]

平安時代半ばごろから、唐の文化をもとにしながらも、日本の風土や生活、日本人の感情にあった文化が生み出された。この文化は何とよばれるか。

(静岡県)

[解答欄]

[解答]国風文化

[解説]

平安時代半ばの貴族たちは、唐風の文化をふまえながらも、日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化を生み出していった。これを国風文化という。

国風文化のなかで一番重要なのは、わが国独自の仮名文字が発明されたことである。それまで、文章は漢字を用いて漢文で書くか、万葉仮名のように漢字の音を借用

して書き表すよりほかなかった。例えば、「から衣 すそに取りつき 泣く子らを 置きてぞ来ぬや 母なしにして」という万葉集に収められている防人の歌は、もともと万葉仮名で「からころむすそ…」と書き表されるが、これは書くのも読むのも大変であった。そこで、漢字の一部をとって片仮名が作られ、万葉仮名に使われた漢字のくずし字から平仮名が作られた。平仮名はおもに女性の間で使われた。仮名文字は、それまでの漢文と違って、細やかな感情をそのまま書き表すことを容易にし、文学の発達をもたらした。

※入試出題頻度：「国風文化◎」「唐風の文化をふまえながらも、日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化◎」「仮名文字◎」「平仮名△」「片仮名△」

[国風文化]

唐風の文化をふまえながらも、日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化

仮名文字の発明

[問題]

良二君は、遣唐使が停止された時代の文化について調べた。この文化の説明として最もよく当てはまるものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 渡来人によって、漢字や儒学の書物、仏教などの大陸の文化が伝えられた。

イ 唐風の文化をふまえながらも、日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化が栄え、優れた文学作品が生まれた。

ウ 武士や民衆の力による素朴で力強い文化が生まれ、新しい仏教の教えが広まった。

エ 書画や生け花をかざる床の間を設けた書院造など現代につながる文化がつけられた。

(大分県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

アは古墳時代，イは平安時代の国風文化，ウは鎌倉時代の文化，エは室町時代の文化である。

[問題]

平安時代の中ごろ，国風文化といわれる文化が栄えた。この国風文化とはどのような文化か。「唐風」「風土や生活」という語句を用いて説明せよ。

(青森県)

[解答欄]

[解答]唐風の文化をふまえながらも，日本の風土や生活，日本人の感情に合った文化。

[問題]

漢字から( X )がつくられるようになり，感情や心の変化をあらわしやすくなった。そして，それを使った物語や日記などのすぐれた文学作品が生まれた。文中の X に適語を入れよ。

(長野県)

[解答欄]

[解答]仮名文字

[問題]

次の文は，すぐれた文学作品が平安時代に多くつくられた主な理由について述べたものである。( )に当てはまる適切な語句を書け。

漢字をくずしてつくられた( )や漢字の一部を省略してつくられた片仮名を用いて，人々の感情を表すことが容易になったため。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]平仮名

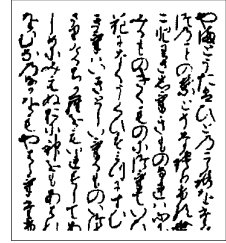
[問題]

右の資料には、文化の国風化が進んだ際に発達した日本独自の文字がみられる。この文字がつくられるもととなった文字は何か、書け。

(石川県)

[解答欄]

[解答]漢字



[問題]

国風文化が最も栄えたのは、藤原氏による(摂関政治/建武の新政/院政)のころであった。文中の( )内より適語を選べ。

(北海道)

[解答欄]

[解答]摂関政治

[源氏物語・枕草子・古今和歌集]

[問題]

次の文中の①, ②の( )内より適語を選べ。

10~11世紀,文化の国風化が進んだ。その代表的な例としては,①(漢字/仮名文字)が発達し,普及した。(①)を用いた②(源氏物語/日本書紀)などの文学作品も生まれた。

(秋田県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 仮名文字 ② 源氏物語

[解説]

仮名文字は,それまでの漢文と違って,細やかな感情をそのまま書き表すことを容易にし,文学の発達をもたらした。小説ではむらさきしきぶ紫式部のげんじものがたり源氏物語,随筆ではせいしょうなごん清少納言のまくらのそうし枕草子が名高い。和歌の分野では,きのつらゆき紀貫之が編集したこきんわかしゅう古今和歌集がある。

[仮名文字→すぐれた文学作品]

源氏物語	紫式部
枕草子	清少納言
古今和歌集	紀貫之らが編集

※入試出題頻度:「源氏物語・紫式部◎」「枕草子・清少納言○」「古今和歌集○」

[問題]

①仮名文字を使って光源氏を主人公とする長編小説を書き、藤原氏が栄えた平安時代の貴族社会を描いたのは誰か。②その長編小説の名前を答えよ。

(鳥取県・佐賀県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 紫式部 ② 源氏物語

[問題]

仮名文字を用いて書かれた文学作品はどれか、[ ]の中からすべて選べ。

[ 古事記 源氏物語 枕草子 日本書紀 ]

(京都府)

[解答欄]

--

[解答]源氏物語, 枕草子

[問題]

次の文中の①, ②の( )内からそれぞれ適語を選べ。

平安時代には、唐風の文化を、わが国の貴族の生活や好みに合わせようとする工夫がなされ、独自の文化である①(天平文化／国風文化)が生まれた。また、漢字から、仮名文字を作り出し、②(万葉集／古今和歌集)などのすぐれた文学作品が生まれている。

(新潟県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 国風文化 ② 古今和歌集

[解説]

万葉集は奈良時代の和歌集である。

[問題]

平安時代には国風文化が栄え、紫式部の「源氏物語」や清少納言の( )などの文学作品が生まれた。( )に適語を入れよ。

(鹿児島県)

[解答欄]

--

[解答]枕草子

[問題]

「枕草子」の作者の名を漢字で書け。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]清少納言

[問題]

次のア～エのうち、国風文化について述べたものとしてあてはまらないものはどれか。  
1つ選んで、その記号を書け。

ア 紀貫之らによって、「古今和歌集」が編集された。

イ 天皇や貴族だけでなく、防人や農民の歌もおさめた「万葉集」が編集された。

ウ 紫式部によって、「源氏物語」が書かれた。

エ 清少納言によって、「枕草子」が書かれた。

(香川県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

イの万葉集は奈良時代の和歌集である。

[寝殿造など]

[問題]

次の各問いに答えよ。

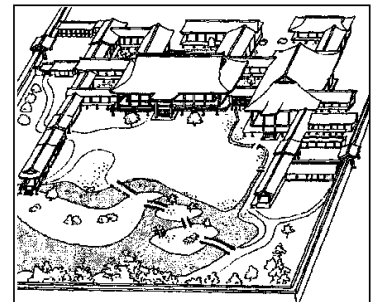
(1) 右の図は、代表的な貴族の住居である。何造と呼ばれるものか。

(2) 平安時代にさかんにえがかれた絵を何というか。

(群馬県改)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----



[解答](1) 寝殿造 (2) 大和絵



【解説】

貴族は、美しい自然を庭園に取り入れた<sup>しんでんづくり</sup>寝殿造<sup>ていたく</sup>の邸宅に住んだ。絵画にも日本の風景や人物がえがかれるようになり、<sup>やまとえ</sup>大和絵と呼ばれた。

※入試出題頻度：「寝殿造△」「大和絵△」

【問題】

「国風文化」について説明したものを2つ選べ。

ア 「古事記」や「日本書紀」などの歴史書がつくられた。

イ 紫式部によって、「源氏物語」が書かれた。

ウ 東大寺南大門の金剛力士像がつくられた。

エ 貴族の住居として、寝殿造の邸宅が建てられた。

(神奈川県)

【解答欄】

【解答】イとエ

【解説】

アは奈良時代、ウは鎌倉時代の文化である。

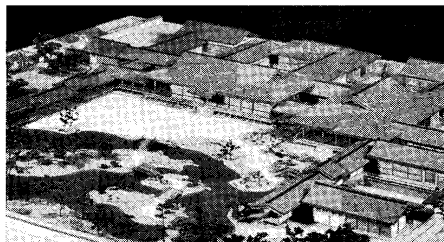
【問題】

遣唐使停止の後に日本では文化の国風化が進んだが、国風文化の特徴を示すものとして適当でないものを、次のア～エから1つ選んで記号で答えよ。

ア



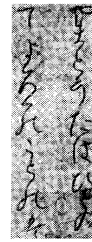
イ



ウ



エ



(島根県)

【解答欄】

【解答】ア

【解説】

アは奈良時代の<sup>しょうそういん</sup>正倉院におさめられている<sup>しっこへい</sup>漆胡瓶。イは寝殿造、ウは「源氏物語絵巻」、エは「仮名文字」で、国風文化の特徴を示している。

[問題]

古代の文化のおもな担い手を，1つ選んで記号を書け。

[ 公家や武家 天皇や貴族 武将や豪商 武士や民衆 ]

(秋田県)

[解答欄]

[解答]天皇や貴族

[問題]

次のア～ウのことがらを，年代の古い順に並べ，符号で書け。

ア かな文字で書かれた優れた文学作品である「源氏物語」や「枕草子」が生まれた。

イ 最澄は，比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めた。

ウ 聖武天皇と光明皇后は，仏教の力にたよって国家を守ろうと，都に東大寺を建てた。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]ウ→イ→ア

[解説]

ウ(奈良時代)→イ(平安初期)→ア(平安中期：国風文化)

## 【】浄土信仰

### [問題]

右の建物は、阿弥陀仏にすがって、死後に極楽( X )に生まれ変わることを願う(X)信仰を背景として、藤原頼通が宇治に建立したものである。文中の X に適語を入れよ。



(岡山県)

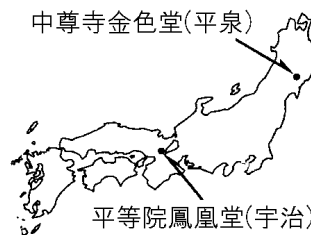
### [解答欄]

[解答]浄土

### [解説]

平安時代中ごろ、<sup>とうぞく おうこう</sup>盗賊の横行など社会が乱れた。このころ、シャカの死後 2000 年から<sup>まつぽう</sup>末法の世になるという末法思想が広まり、<sup>あみだぶつ あみだによらい</sup>阿弥陀仏(阿弥陀如来)にすがって死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う<sup>じょうどしんこう</sup>浄土信仰が、不安をつのらせた貴族や<sup>しよみん</sup>庶民の心をとらえた。

<sup>ふじわらの よりみち</sup>藤原頼通は、この世に<sup>ごくらく</sup>極楽浄土のようすを表そうとして、<sup>うじ</sup>宇治(現在の京都府宇治市)に<sup>しんでんづくり ひょうどういんほうおうどう</sup>寝殿造の平等院鳳凰堂(右図)を建てた。また、奥州藤原氏は<sup>ひらいずみ ちゅうそんじこんじきどう</sup>平泉に中尊寺金色堂を建てた。



### [浄土信仰]

阿弥陀仏にすがって死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰

平等院鳳凰堂(宇治):藤原頼通

中尊寺金色堂(平泉)

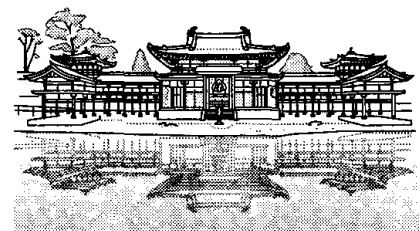
### (平等院鳳凰堂)



※入試出題頻度:「浄土信仰◎」「阿弥陀仏にすがって死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰◎」「平等院鳳凰堂◎」「藤原頼道△」「中尊寺金色堂○」

### [問題]

右図は、阿弥陀如来像を納めた、平安時代の代表的な建造物である。図が建造されたころ、阿弥陀如来にすれば、死後に極楽へ生まれ変わることができるという信仰が広まっていた。この信仰は何とよばれるか。その名称を書け。



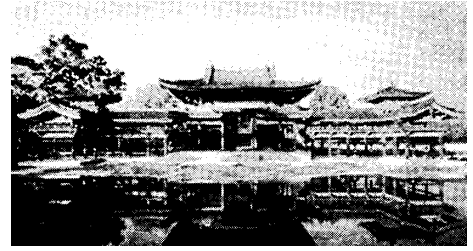
(静岡県)

### [解答欄]

[解答]浄土信仰

[問題]

右図は藤原頼通によって建てられた建造物である。  
図の建造物が建てられたころの日本のようすについて述べた文を、次のア～ウの中から1つ選び、記号で答えよ。



ア 禅宗などの、わかりやすく実行しやすい新しい仏教の教えが、民衆や武士の間に広まった。

イ 世の中が乱れ、極楽浄土に生まれかわることを願う浄土信仰が人々の心をとらえた。

ウ 仏教の力で国家を守ろうと考えた天皇が、国ごとに国分寺を建て、都に金銅の大仏を造った。

(静岡県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

アは鎌倉時代。ウは奈良時代。

[問題]

右の写真のような阿弥陀如来像がさかんにつくられた背景として最も適当なものを、次のア～エから1つ選んで記号で答えよ。



ア 法隆寺などの寺院が、豪族の権威を象徴するものとして建てられた。

イ 仏教の力で国を守るため、国ごとに国分寺や国分尼寺が建てられた。

ウ 社会不安が高まり、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰がおこった。

エ 宋にわたった栄西や道元が、座禅によって自分の力でさとりを得ようとする禅宗を伝えた。

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

アは飛鳥時代、イは奈良時代、ウの浄土信仰は平安後期、エは鎌倉時代。

[問題]

右の資料は、11世紀に貴族によって建てられた、浄土信仰の代表的な仏教寺院である。浄土信仰とは何か、「阿弥陀仏」という語を用いて書け。



(山形県)

[解答欄]

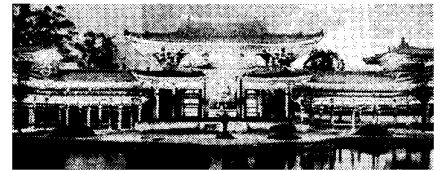
[解答]阿弥陀仏にすがって死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰。

[問題]

右の歴史的建造物の名称を、次から選べ。

[ 銀閣寺 正倉院 日光東照宮 平等院鳳凰堂 ]

(青森県)



(摂関政治全盛期の建物)

[解答欄]

[解答]平等院鳳凰堂

[問題]

右の写真 A、B のうちのどちらかは、阿弥陀仏(阿弥陀如来)にすぎる浄土信仰が広まった時期の建築物である。この時期の建造物とそれを建てた人物の組み合わせとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

写真A



写真B



ア 写真 A－藤原頼通

イ 写真 A－足利義政

ウ 写真 B－藤原頼通

エ 写真 B－足利義政

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]ア

[問題]

金や馬などの産物によって栄えた豪族の奥州藤原氏が、浄土へのあこがれから平泉の中尊寺につくった建物を何というか。

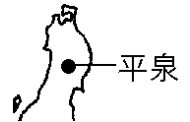
(栃木県)

[解答欄]

[解答]中尊寺金色堂

[解説]

11世紀末から12世紀にかけて、東北地方の平泉<sup>ひらいづみ</sup>を根拠地<sup>こんきょち</sup>に奥州藤原氏<sup>おうしゅう</sup>が勢力をふるった。中尊寺金色堂<sup>ちゅうそんじこんじきどう</sup>は、浄土<sup>じょうど</sup>へのあこがれから平泉の中尊寺につくった阿弥陀堂<sup>あみだどう</sup>で、建物の各所に金ぱくをほどこし、この時期の繁栄を象徴している。



[問題]

次の各問いに答えよ。

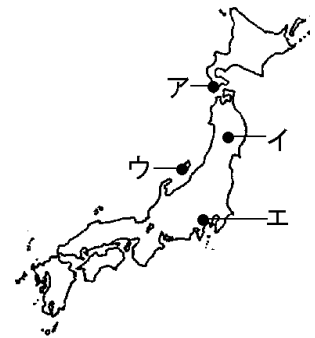
- (1) 中尊寺金色堂を建て、平泉を中心に栄えた一族は何氏か。
- (2) 中尊寺金色堂のある平泉の場所を、地図中のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

(山口県・石川県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 奥州藤原氏 (2) イ



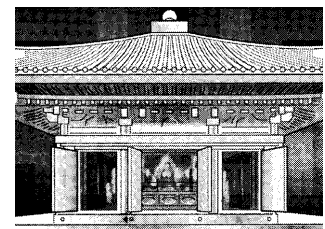
[問題]

右図は、岩手県平泉町にある世界遺産の一つである。これが建てられたころに行われた貿易では、奥州藤原氏が支配していた地域から産出された鉱産資源が輸出品となった。その鉱産資源は何か。

(岩手県)

[解答欄]

[解答]金



【】 武士・院政・平清盛

【】 武士の成長と院政

[武士の成長]

[問題]

10 世紀中ごろ，関東では( X )が，瀬戸内海では藤原純友が反乱をおこした。朝廷は，地方の武士の力をかりて，この 2 つの反乱をおさえることができた。文中の X に適語を入れよ。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]平将門

[解説]

10 世紀の半ば，東西で武士の反乱が起こった。関東では，935 年に平将門が国府を襲い，自ら新皇(新しい天皇)と名のり，一時期，関東地方の大半を支配した。(組み込む(935)大軍平将門の乱) また，瀬戸内では藤原純友が海賊を率いて，国府や大宰府をおそった。朝廷は，他の武士団の力をかりてこの 2 つの反乱をようやくしずめることができた。

東北では，蝦夷の子孫である阿倍氏や清原氏が力をのぼしていたが，11 世紀の後半に，かれらの勢力争いで前九年合戦・後三年合戦が起こった。朝廷から派遣された源義家が，関東の武士を率いてこれをしずめたので，源氏の武士団は東日本で大きな勢力となっていって。後三年合戦以降，陸奥・出羽地方を支配したのは奥州の藤原氏であった。奥州の藤原氏は，平泉を根拠地として栄え，浄土信仰の影響を受けた中尊寺金色堂を建てた。12 世紀前半には瀬戸内海を海賊をしずめた平氏が西日本に勢力をのぼした。

[武士の成長]

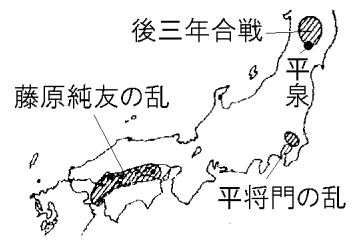
935年 平将門の反乱

939年 藤原純友の反乱

1051年 前九年合戦

1083年 後三年合戦

奥州の藤原氏(平泉)



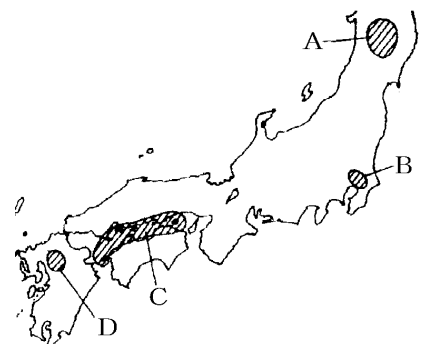
※入試出題頻度：「平将門◎」「藤原純友○」「源義家△」「奥州藤原氏△」

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 10 世紀の中ごろ，反乱をおこし，自ら新皇(新しい天皇)と名乗ったのは誰か。また，その場所は右の地図の A~D のどこか。
- (2) 10 世紀の中ごろ，海賊を率いて反乱をおこしたのは誰か。また，その場所は右の地図の A~D のどこか。

(補充問題)



[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 平将門, B (2) 藤原純友, C

[問題]

次の文は、地方での武士の動きについて述べたものである。①～③にあてはまる人物名を答えよ。

10 世紀の中頃、関東では( ① )が、瀬戸内海周辺では( ② )が地方の武士団を率いて反乱をおこした。11 世紀には、東北地方での大きな反乱をしずめた源氏の( ③ )が東日本に勢力を広げた。

(徳島県改)

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 平将門 ② 藤原純友 ③ 源義家

[問題]

平将門は、まわりの武士を率いて中央政府に対して反乱をおこし、武士の力を示した。その当時の中央政府ではどのような政治が行われていたか、次から1つ選べ。

[ 執権政治 院政 藩閥政治 摂関政治 ]

(山形県)

[解答欄]

--

[解答]摂関政治

[院政]

[問題]

平安時代の末期、白河天皇は位をゆずって上皇となったのち、摂政や関白の力をおさえて政治を行った。この政治を何というか、その名称を書け。

(埼玉県)

[解答欄]

--

[解答]院政



【解説】

11世紀後半には、藤原氏などの貴族の荘園が増加していた。1068年に藤原氏との関係がうすい後三條天皇が即位し、<sup>しょうえん</sup>荘園の整理などを行った。

その後を継いだ<sup>しらかわ</sup>白河天皇は東国に勢力をもつ源氏と、西国に勢力をのばした平氏を用いて、新しい政治を行

った。白河天皇は、1086年に位を幼い皇子にゆずって<sup>じょうこう</sup>上皇になってからも政治の実権をにぎり、<sup>いんせい</sup>院政を行った(院政とは、天皇が位をゆずって上皇となった後も、政治の実権をにぎるしくみである)。白河上皇や、その次の鳥羽上皇は新しい荘園を認める強い力を持ったので、多くの荘園が上皇に<sup>きしん</sup>寄進された。上皇は寺社を厚く保護したので、寺社も多くの荘園を持ち、武装する僧(<sup>そうへい</sup>僧兵)をかかえて勢力を広げていった。

※入試出題頻度：「白河上皇△」「院政◎」「天皇が位をゆずって上皇となった後も、政治の実権をにぎるしくみ◎」

【院政】

1086年 白河上皇が院政を始める

天皇が位をゆずって上皇となった後も、政治の実権をにぎるしくみ

【問題】

11世紀の後半、(桓武天皇／聖武天皇／白河天皇／後三條天皇)は、位をゆずって上皇となった後も、上皇の御所である院でみずからが政治を行い、院政を始めた。文中の( )内より適語を選べ。

(秋田県)

【解答欄】

【解答】白河天皇

【問題】

次の文中の①、②に適語を入れよ。

白河天皇は天皇の位を8歳の子にゆずって( ① )となり、院と呼ばれる御所に住んだ。そして、院に移ったあとも政治の実権をにぎった。(①)が動かす朝廷の政治を( ② )という。

(福井県改)

【解答欄】

①	②
---	---

【解答】① 上皇 ② 院政

【問題】

院政とはどのような政治か。「天皇」という語を用いて、簡潔に書け。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]天皇が位をゆずって上皇となった後も、政治の実権をにぎるしくみ。

[問題]

平安時代、寺社は、上皇に保護されたので多くの荘園をもち、武装する僧をかかえて勢力を広げた。下線部の僧を何というか。

(青森県)

[解答欄]

[解答]僧兵

[保元の乱・平治の乱]

[問題]

平氏が勢力を大きくのぼすきっかけとなったできごとを、次から1つ選べ。

[ 承久の乱 平治の乱 平将門の乱 壇ノ浦の戦い ]

(秋田県)

[解答欄]

[解答]平治の乱

[解説]

上皇が力を持つと、それに不満を持つ天皇もあらわれた。崇徳上皇と後白河天皇の対立が起り、これに藤原氏一族の争いが結びついて、1156年に、保元の乱が起きた(いいころ(1156)に起こった保元の乱)。

[保元の乱・平治の乱]

1156年 保元の乱(天皇と上皇の対立)

1159年 平治の乱(平清盛と源義朝の対立)

上皇も天皇も、平氏と源氏の軍を集めて戦った。天皇方が院へ夜討ちをかけ、数時間の戦いで勝った。その結果、後白河天皇方について平清盛と源義朝が勢力を強めた。

しかし、この2人はその後対立を深め、1159年、義朝が清盛を討とうとして敗れ、義朝の子頼朝は伊豆に流された。これを平治の乱という。戦いに勝った平清盛は、1167年、武士としてはじめて太政大臣となり政治の実権をにぎった。(いちいち無理な(1167)清盛さん)

※入試出題頻度：「保元の乱△」「平治の乱△」

[問題]

右の年表について、次の各問いに答えよ。

- (1) 年表のア、イに適語を入れよ。
- (2) 次の①、②の文は年表中の A、B のどちらとかがかわりが深いか。それぞれ、A、B のいずれかの記号で答えよ。
- ① 武士の棟梁同士の対立と、藤原氏一族の対立から起こった。
- ② 天皇と上皇の対立から起こった。

年代	おもなできごと
1086 年	白河上皇が院政を始める。
1156 年	(ア)の乱がおこる。…A
1159 年	(イ)の乱がおこる…B
1167 年	平清盛が太政大臣となる。

(補充問題)

[解答欄]

(1)ア	イ	(2)①	②
------	---	------	---

[解答](1)ア 保元 イ 平治 (2)① B ② A

[問題]

源氏と平氏がかかわった保元の乱と平治の乱をきっかけとして、政治権力の担い手がどのように変化したかを説明せよ。

(福井県)

[解答欄]

--

[解答]武士が政治の上で大きな力をふるうようになった。

## 【】平清盛の政治

### [問題]

1167年、武士として初めて太政大臣になった( X )は、一族を高い位につけ、権力をふるった。また、港を整備して宋との貿易を行い、多くの利益をあげた。文中の X 内に入れる適語を答えよ。

(栃木県)

### [解答欄]

[解答]平清盛

### [解説]

平治の乱に勝利をおさめた平清盛<sup>たいらのきよもり</sup>は、1167年、武士としてはじめて太政大臣<sup>だいていだいじん</sup>となり政治の実権をにぎった。(いちいち無理な(1167)清盛さん)

平清盛は、兵庫<sup>ひょうご</sup>(現在の神戸市)の港を整備して、中国の宋<sup>そう</sup>との貿易を行い大きな利益を得た。平氏は、航海の安全を守るため、厳島神社<sup>いつくしまじんじや</sup>をたびたび参詣<sup>さんけい</sup>した。

清盛は、娘<sup>むすめ</sup>を天皇のきさきとし、その子を天皇にして朝廷の中で実権をにぎった。平氏一族で高い官職を独占し、多くの公領<sup>こうりょう</sup>や荘園<sup>しょうえん</sup>を支配した。そのやり方は貴族とかわらないものであったため、貴族や寺社の反感をかい、地方の武士の中にも不満をいだく者が増えた。こうした中、清盛が後白河上皇の院政を停止させると、源氏を中心とする諸国の武士が兵<sup>あ</sup>を挙げた。清盛の死後、1185年に現在の山口県で起こった壇ノ浦<sup>だんのうら</sup>の戦いで平氏は滅んだ。

※入試出題頻度：「平清盛◎」「太政大臣◎」「娘を天皇のきさきとし、その子を天皇にして朝廷の中で実権をにぎった◎」「宋との貿易◎」「兵庫(現在の神戸)(地図)○」

### [問題]

平清盛は1167年、武士としてはじめて(太政大臣／摂政／大王／関白)の地位につき、中国との貿易による利益を得るため、兵庫の港(大輪田泊)を整備した。文中の( )内より適語を選べ。

(新潟県)

### [解答欄]

[解答]太政大臣

### [平氏の政治]

1167年 平清盛が太政大臣となる  
兵庫の港を整備→宋との貿易

娘を天皇のきさきとし、その子を天皇にして朝廷の中で実権をにぎった



[問題]

平清盛は兵庫の港を整え、中国のある王朝との貿易を行った。この中国の王朝は何というか。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]宋

[問題]

平清盛は、中国との貿易を推進するために港を整備した。

①それはどこの港か。下の[ ]から1つ選べ。

②また、その港の位置を右の地図のア～エから1つ選べ。

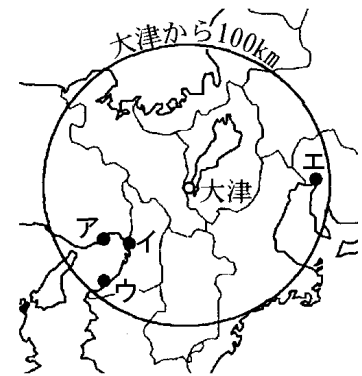
[ 堺 兵庫 博多 長崎 ]

(奈良県・滋賀県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 兵庫 ② ア



[問題]

平清盛が兵庫の港を整備した理由を、当時の外国との関係から、国名を入れて、簡潔に書け。

(大分県)

[解答欄]

[解答]宋との貿易をさかんにするため。

[問題]

瀬戸内海を航行する人々の守り神をまつり、平清盛が信仰した神社で、現在は世界遺産となっているものを何というか。

(石川県)

[解答欄]

[解答]厳島神社

[問題]

厳島神社は、平安時代の末期に、ある一族が守護神として信仰していた神社である。その一族について述べた文として、誤っているものはどれか、ア～エから1つ選べ。

- ア 源氏とならんで有力な武士団を形成していた。
- イ 兵庫の港を整え、日宋貿易を積極的に行った。
- ウ 上皇となって院政を行う人物もあらわれた。
- エ 多くの荘園を支配し、権勢をほこった。

(徳島県)

[解答欄]

[解答]ウ

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

平清盛は、平氏一族を高い官職や位につけ、広大な荘園と多くの国々を支配した。また、( ① )貿易で経済的な利益を得るとともに、娘を天皇の( ② )にして、朝廷との結びつきを強めた。

(島根県改)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 日宋 ② きさき

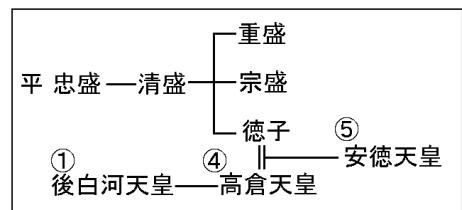
[問題]

Bさんは平清盛に関する系図をみつけた。この系図をみると、平清盛は、力をふるったとき、摂関政治を行っていたころの藤原氏とよく似たことを行ったことがわかる。それはどのようなことか。

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]娘を天皇のきさきとし、その子を天皇にして朝廷の中で実権をにぎった。



(数字は即位順。後白河天皇と高倉天皇の間に即位した天皇は、この系図では省略しています)

[問題]

次のア～エを年代の古い順に並べるとどのようになるか。その記号を順に書け。

ア 関東で起こった平将門の反乱は、武士の力によってしずめられた。

イ 桓武天皇は、政治を立て直すために、今の京都の地に都を移した。

ウ 平清盛は、平治の乱で源氏をやぶり、大きな力をふるった。

エ 長く続いた遣唐使は、唐の力がおとろえたために停止された。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]イ→エ→ア→ウ

[解説]

イ(平安初期：平安京遷都 794 年)→エ(平安中期：遣唐使の停止 894 年)→ア(平安中期：平将門の乱 935 年)→ウ(平安末期：平清盛が太政大臣になる 1167 年)

[問題]

ア～エのできごとを年代の古い順に並べよ。

ア 白河上皇が院政を始める。

イ 坂上田村麻呂が征夷大將軍になる。

ウ 平清盛が平治の乱に勝利する。

エ 藤原道長が摂政になる。

(北海道)

[解答欄]

[解答]イ→エ→ア→ウ

[解説]

イ(平安初期：桓武天皇が坂上田村麻呂に蝦夷をうたせる)→エ(平安中期の摂関政治：藤原道長が摂政になる 1016 年)→ア(平安後期の院政：白河上皇が院政開始 1086 年)→ウ(平安末期：平治の乱 1159 年)

## 【FdData 入試版のご案内】

詳細は、[\[FdData 入試ホームページ\]](#)に掲載 ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

姉妹品：[\[FdData 中間期末ホームページ\]](#) ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

### ◆印刷・編集

この PDF ファイルは、FdData 入試を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないように設定しております。製品版の FdData 入試は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

### ◆FdData 入試の特徴

FdData 入試は、公立高校入試問題の全傾向を網羅することを基本方針に編集したワープロデータ(Word 文書)です。入試理科・入試社会ともに、過去に出題された公立高校入試の問題をいったんばらばらに分解して、細かい單元ごとに再編集して作成しております。

### ◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは、製品の Word 文書を PDF ファイルに変換したもので印刷や編集はできませんが、製品の全内容を掲載しており、どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。

しかし、FdData 入試がその本来の力を発揮するのは印刷や編集ができる製品版においてです。また、製品版は、すぐ印刷して使える「問題解答分離形式」、編集に適した「問題解答一体形式」、暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」の 3 形式を含んでいますので、目的に応じて活用することができます。

※[FdData 入試の特徴\(QandA 方式\)](#) ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

### ◆FdData 入試製品版(Word 版)の価格(消費税込み)

※以下のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると、新規ウィンドウが開きます

[社会地理](#)、[社会歴史](#)、[社会公民](#)：各 6,800 円(統合版は 16,200 円) ([Shift]+左クリック)

[理科 1 年](#)、[理科 2 年](#)、[理科 3 年](#)：各 6,800 円(統合版は 16,200 円) ([Shift]+左クリック)

※Windows パソコンにマイクロソフト Word がインストールされていることが必要です。(Mac の場合はお電話でお問い合わせください)。

◆ご注文は、メール([info2@fdtext.com](mailto:info2@fdtext.com))、または電話(092-811-0960)で承っております。

※[注文→インストール→編集・印刷の流れ](#) ([Shift]+左クリック)

※[注文メール記入例](#) ([Shift]+左クリック)

【Fd 教材開発】 Mail : [info2@fdtext.com](mailto:info2@fdtext.com) Tel : 092-811-0960